



皆様お揃いで、良いお年をお迎えるのとおもいます。松の内も過ぎ、お屠蘇気分もすっかり抜け、また元のお忙しい日常に戻られたことでしょう。

ここ数年は、コロナのせいもあり、お正月の華やかな雰囲気は薄れ、少し寂しい気もしますが、これも時代の流れなのかもしれませんね。



さて2022年は寅年。トラといえば「虎の子」「虎の巻」など大切なものを指す言葉にも使われますが、さまざまな制限のもとで本当に大切なもの、守らなければならないものは何だろうと考えさせられた気もします。

寅年は、芽生えたものが成長する年ともいわれますが、先ずは穏やかでありますようにと願うばかりです。

家を建てる段取り (15)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【いろいろな契約】

一軒の家をつくるためには、複数の相手と何種類もの書類を交わし、契約書に署名・捺印することになります。



売買契約・工事請負契約のいずれも、契約書には実印が必要です。

もし、実印の用意がなければ、早めに住居地の役所で印鑑登録を済ませておきましょう。

土地と家の他に、住宅ローンを利用する場合には更にローンの契約も発生します。

借入先が複数という場合もありますので、その都度々手続きの回数や書類が増えていきます。

どの契約においても事前に書類を受け取り、目を通して理解しておくことが大切です。

その際に、もし解らないことがあれば、どんな小さなことでも契約前に担当者に確認しておきましょう。押印すればその内容に完全同意したものとみなされます。



土地は候補の場所を比較検討し、購入する物件を決めたら手付け金を支払い、売買契約へと進み契約書を交わします。

工事契約では、契約全体の内容を明記した工事請負契約書の他に工事の約束ごとを纏めた約款、見積書、建築図面という四種の書類が用意されます。

いずれもとても大切な書類ですので、家が完成した後も、しっかり保管しましょう。会社によっては、家のプラン作成の段階で設計契約書を交わすこともあります。これも契約ですので事前によく目を通しておきましょう。

次号に続く

「笑う門には福来る」

笑う = 笑いが絶えない、いつも明るく朗らかでいる
門 (かど) = 家、家族

福 = 幸福、幸せ

来る (きたる) = こちらにやってくる

門を「もん」ではなく「かど」と読むのがポイント。

「もん」と読むと家の門になってしまいます。

本来、カドとは母屋の前庭のことをいい、福の神が来るよう願う祝祭的空間の役目がありました。

門松 (かどまつ) も同様で、昔はお正月に年神様が降臨する依り代として、母屋の前庭に立てていました。

お正月に、家族みんなで楽しめる福笑いは、まさに「笑う門には福来る」にふさわしい遊びですね。



上方である京都のいろはかるたの「わ」は「笑う門には福来る」です。

幸福になる「五つの言葉」



突然ですが、皆さんは今幸せですか？
誰もが、自分の人生が順調であることを望んでいます。人生は良い時ばかりではなく、仕事や人間関係が上手くいかない、家庭内に問題がある、病気に苦しんでいる・・・等など、人間は生きている限り、多少なりとも逆境や苦境で悩み、苦しむことがあります。

苦境にあった時、人間は二種類に分かれるといえます。

- ①自分を嘆き、人生を恨み、苦境に甘んじる人
 - ②逆境をチャンス到来！としっかり受け止め、それを経験として乗り越えようとする人
- あなたは、どちらのタイプでしょうか？

海の幸であるサザエは、殻にとげが有るものと無いものがあるのはご存知ですか？

とげは、海底の激しい潮流に流されないようにするために発達したもので、とげの有るサザエは、無いものに比べると味が良く、値段が高いそうです。



私達の人生も、このサザエに似ていて、荒波にもまれて生きてゆく知恵をつけ、人間的に成長することができる人には、成功や幸せが待っています。

苦境に立った時、自分はダメな人間だとか、運が悪いと悲観し、他人にぼやいたりすると人生は決して良い方向に進みません。

言霊（ことだま）という言葉聞いたことはありませんか？

マイナスの言葉を口にする人には、悪いことが起こり、「馬鹿、馬鹿」と子供に言い続けたら、その子は良い子に育たない、とも言われますよね。

人生を惨めにしてしまう弱気四重奏の言葉は、「辛い」「苦しい」「困った」「駄目だ」
また、口に出してはいけない五戒は、「愚痴」「不平」「不満」「悪口」そして「文句」です。

反対に、素敵な人生を送るには、たとえ苦境にあったとしても、必ず人を幸福にする五つの言葉があります。

それは「ありがとう」「幸せ」「嬉しい」「ツイテイル」「楽しい」です。



如何ですか？

嫌なことがあっても、はねのけてプラスの人生にするために、明るい言葉を唱えてみることにしましょう。

苦しいからといって、何もせずにそれに浸っているのは、単に甘えや怠慢でしかありません。苦労や困難の向こう側には、必ず成功と幸せが待っています。

ここ数年は、我慢を強いられています。今年、「災い転じて福となす」と信じ、人を幸せにする五つの言葉を心に頑張りましょう！

「編集後記」

「明けましておめでとうございます！」と、ご挨拶したのはつい先日のような気がしますが、早いものでもう1月も後半。時間の流れが年々早く感じられます。

終結を期待していたコロナも、新株の出現で未だしばらくは我慢が必要のようですが、辛く苦しい時を乗り越えた分、きっと多くの幸せを感じられるものだと思います。

皆でここを一つにして、もう少し頑張りましょう！

この1年が、皆様にとって穏やかで実りある年になりますようお祈りいたします。

私達も、皆様のお役に立てるよう気持ちを新たに精進してまいりますので、引き続きお付き合いいただきますよう、よろしくお願いいたします。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同